



Scaling Bitcoin 2018の開催について

松尾真一郎

Scaling Bitcoin Workshopの由来

Bitcoinのスケーラビリティ問題に関する激しい議論

Bitcoinの技術仕様と金銭的利害

アカデミアの学術的知見の必要性

エンジニアとアカデミアによる、技術にフォーカスした議論の場所の必要性

技術基準

技術提案

技術文書とデータを用いた、アカデミアの流儀に従った技術評価

NIST SHA3の選定プロセスをモデル

Scaling Bitcoin Workshopの概要

世界のBitcoin/Blockchainのトップのエンジニア、研究者が集う、世界最大の会議

2日間の学術スタイルのカンファレンス

2017年は、20件の査読を通過した論文の発表、1件のKeynote、3件のInvited Talk

論文募集と査読プロセス

1時間のアンカンファレンス形式のワークショップ

複数の個別テーマについて、希望する参加者によるグループ討議と全体共有発表は、Webcastされ、ビデオは後日公開

Scaling Bitcoin Workshopの歴史

2015年9月 モントリオール (カナダ)

Phase I

Lightning Network

2015年12月 香港

Phase II

Segregate Witness

2016年10月 ミラノ (イタリア)

“Retarget”

TumbleBit

2017年11月 スタンフォード (アメリカ)

“Scaling the Edge”



Scaling Bitcoin Workshopの目的

目的

- **Bitcoinに関連する技術の発展のための議論**
- **技術的議論にフォーカス**
- **金銭的利害、政治的利害について中立**
- **No debate, No Decision**

想定参加者

- **エンジニア（関連領域の）**
- **研究者（関連領域の）**
- **技術関連の記事を書くジャーナリスト**

Code of Conduct

We want to respect the privacy of all participants, so no photographs or recordings are permitted.

プライバシーの厳守、写真撮影、ビデオ撮影、録音の禁止

As an academic and engineering focused event, we do not allow public promotional activities.

宣伝行為の禁止

We don't condone harassment, undue interruption, or offensive behavior at our workshop venues or anywhere.

ハラスメント、妨害、攻撃的行動の禁止

Chatham House Rule

会議で出た情報は自由に使ってもいいが、会議における発言が誰のものであるか、会議の参加者は誰かを明かさないルール

Scaling Bitcoin Workshop2018 Tokyo 開催概要

2018年秋に開催@東京

BASEアライアンスがアカデミックホスト

Program Co-chairs:
松尾真一郎、Taddeus Dryja

Call for proposals: 2018年1月24日ごろ公開予定

Bitcoin Edge: Dev++

2日間のBitcoin/Blockchainのエンジニアトレーニング プログラム

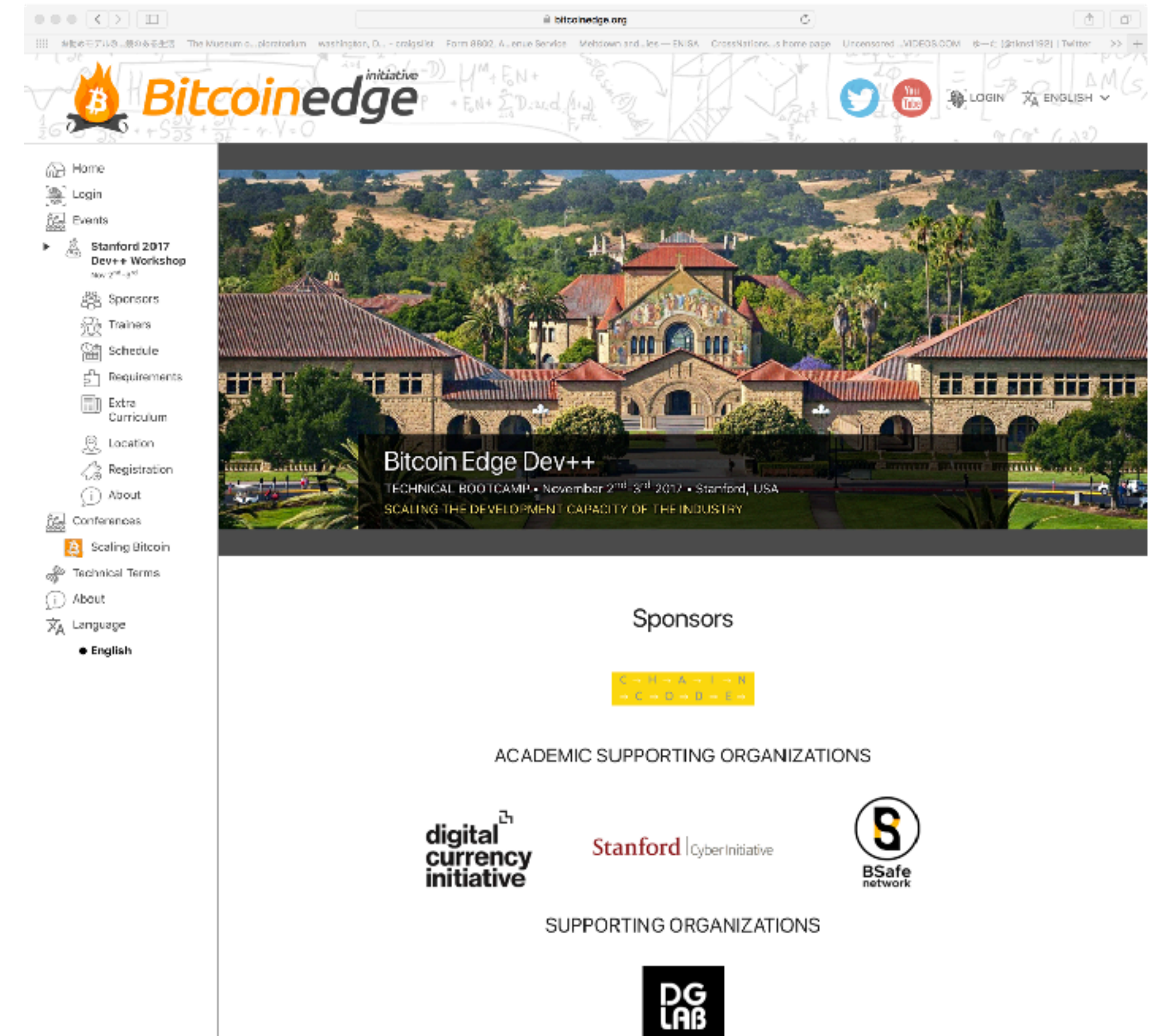
講師はBitcoin Core開発者と研究者

講義とコードを用いた演習

PCは持ち込み

参加者の想定

コンピュータエンジニアリングのバックグラウンド
データ構造とネットワークの知識
C++, Java, Python, Goなどのプログラミング経験



**ブロックチェーン技術のトップの議論に貢献できるまたとないチャンスです
ぜひ、技術提案と議論への参加をお願いします**